

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 大口 弘 和
 幹事 谷口 優
 会報・雑誌委員長 山本 英 次

No. 17

慈愛の種を播きましょう Sow the Seeds of Love

2002～2003年度 RI会長 ビチャイ・ラタクル

きょうの例会
 第971回 平成14年 11月 12日(火)

職場例会
 (愛知学院大学歯学部病院)

先週の記録
 第970回 平成14年 10月 29日(火) 晴
 ガバナー公式訪問
 パートナークラブ 名古屋名東RC

◆“奉仕の理想”

◆出席報告

会員	71(65)名	出席	45名
出席率	69.23%		
前々回	10月15日(修正出席率)		96.92%

◆ビジター紹介

第2760地区ガバナー	岡部 快圓君
第2760地区幹事	伊藤 宏君

◆ゲスト紹介

松島 孝彰君

名古屋名東RC 米澤会長挨拶



千種クラブ、並びに名東クラブの皆様、こんにちは。
 本日はガバナー公式訪問の合同例会に名東クラブより大勢でお邪魔を致し、大変お世話を相掛けますが、何卒宜しく願いを申し上げます。

又、千種クラブ様には先週23日に名古屋能楽堂に於いて、創立二十周年の式典を挙行され、厳粛の内に格調の高い記念式典を終えられました事、名東クラブ一同と共に心よりお喜びを申し上げます。

又、式典後は処を移し楽しい趣向の懇親会に幹事共々お招きを頂き、誠に有難うございました。

岡部ガバナーを始め、大口会長も舞台上にてパフォーマンスをご披露され、新しいかたちの周年行事の在り方として参考にさせて頂きたいと存じます。

さて、本日は岡部ガバナーをお迎えしての合同例会で在ります。ガバナーには超ご多忙の中、先刻来、ご懇徳なるご指導を賜り誠に有難うございます。早速クラブに持ち帰り、全員で後期に向けての諸活動に対し検討・確認・徹底を計り推進して参りたいと存じますので、今後とも変わらぬご指導を賜ります様、お願いを申し上げご挨拶とさせていただきます。

大口会長挨拶



みなさん、こんにちは！

急に朝・晩寒くなりビックリしておりますが、体調など崩されませんよう、お気を付け頂きたいと思っております。

本日は、第2760地区ガバナーの岡部快圓様と地区幹事の伊藤宏様をお迎えして、名古屋名東RCとのガバナー公式訪問合同例会がこのように盛大に開催出来たことを大変嬉しく思います。会員一同歓迎いたします。

また、先日行われました私どもの創立20周年記念例会には、岡部ガバナー・伊藤地区幹事・名東RCの米澤会長・積幹事にご臨席いただき、会員一同心から感謝申し上げます。

そして、水野(民)名誉実行委員長、松居実行委員長始め会員皆様にご尽力頂いたお蔭で無事終えることが出来ましたことにも感謝申し上げます。

岡部ガバナー5つの地区方針を掲げられました。私どもの20周年記念事業の3本柱、「新世代に思いやりの心を」……タイの学校に校舎を寄贈

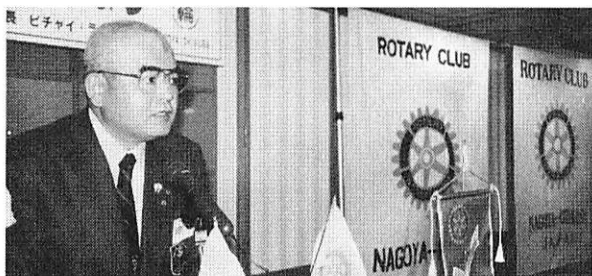
「地域の伝統、文化を後世に継承しよう」……藤田六郎兵衛氏らによる能の鑑賞と蒔絵の小箱を記念品として出席者へ進呈。

「地域に密着した奉仕活動」……東山植物園に千種区の花である紫陽花を詠んだ歌碑の寄贈は手前味噌ではありますが、それに沿ったもので偶然とは言えビックリしております。

米澤さんとは10数年前にロータリーのある会で名刺交換して以来、名前が「弘和」で全く同じということで忘れることの出来ない知人となり、同じ年度に会長に任命されておりますことと、また、岡部ガバナーとは同年度に幹事を経験しており、何かの縁を感じております。

今回、ホストクラブとして何かと不行き届きがあるとは思いますが、ロータリーの友情をもってお許しいただきますよう、お願い申し上げます会長挨拶とさせていただきます。

第2760地区 岡部快圓ガバナー挨拶



みなさん、こんにちは。

本日は合同例会に温かくお迎え頂き、又ホストの千種クラブさんにおかれましては早くからご準備頂きましたこと厚く御礼申し上げます。

そして、過日は格調高く素晴らしい20周年行事を挙行されましたことを心よりお祝い申し上げます。

本年度RIビチャイ・ラタクル会長は、アナハイム国際協議会の席上で最初に「ロータリアンとして、ロータリーの仕事をするのは、クラブとその会員であって、地区ガバナーでも、国際ロータリーの理事や会長でもありません。本年は上意下達（トップダウン）ではなく草の根レベルから立ち上がって（ボトムアップ）働きます。ボトムアップでクラブを改善するには、クラブに確固たる指導権を与える必要があります。この目標を支持するために、会長賞プログラムではクラブに推進策やアイデアを求めます。もちろん（ロータリーの全世界での探求）を継続して、会員増強に対する強調は崩しません。しかし、それ以外は、四大奉仕の各部門でいかに活動するかを決めるのは、各クラブに任せられます。クラブが各々の計画を報告し、そして自分達の誓約を果たせば、会長賞を受賞します。」と提示されました。各クラブが自主的に活発に活動するためには、多くの最新情報と永年培ったノウハウを持っている地区の委員会の全面的なサポートが不可欠です。地区の委員会には各クラブのサポートをお願いしてありますので、気軽にコンタクトをとってご相談下さい。

そして、本年度RIテーマ「慈愛の種を播きましょう」と発表になりました。

慈愛のころは、お母さんが乳飲み子におっぱいを与える時のころ。相手の悲しみが自分の悲しみであり、相手の喜びが自分の喜びであり、相手の欲しているものを、満たしてあげる思いやりの暖かい慈しみのころです。そして、相手の欲しているものを満たしてあげる時に、どれだけ沢山の物を与えるかではなく、大事なのはどれだけ満ち溢れる慈愛をこめて与えるかです。

慈愛の種を播くことは、人生を通して、日々奉仕をする機会を見つけることです。慈愛の種を播くことは、他者のことをまず先に考え、他者のために何ができるかという側面から自分のことを考えることです。

慈愛の種を播き、命の本質を植えましょう。

生き残るのはもちろん、命の本質ですが、生き残るだけでは価値がありません。誰のために生き残るかが重要なのです。ですから、あなたのクラブで、職場で、地域社会で、世界で、慈愛の種を播きましょう。

慈愛の種はたくましく、どんな気候でも、どんな土壌でも育ちます。私たちの播く種の一部は、ほとんどただちに芽を出すでしょう。そして野の花のように種を飛ばして、空中に慈愛を播くでしょう。他の種は固い岩の上に落ち、より多くの世話が必要かもしれません。しかし、ロータリーの献身と行動で育てるなら、私たちは人道的奉仕の収穫を豊かに刈り取ることができると保証します。豊かな実りが本年度か、来年度か、再来年度か、もっと先かかもしれません。

しかし、慈愛の種を播かなければ、豊かな実りを刈り取ることは、絶対ありません。

多くの慈愛の種を播き続けましょう。

会長・幹事懇談会

10:15~11:10 琴の間



岡部ガバナー、伊藤地区幹事にご臨席頂き、和やかな雰囲気の中、懇談会を開催致しました。

◆ニコボックスは次回掲載と致します。

◆次回例会（11月19日）

地区大会報告